

令和5年度第2回番組審議委員会議事録

1 開催年月日 令和5年8月24日（木） 17:00～

2 委員の出席

- ① 委員総数 9名
- ② 出席委員数 6名
- ③ 出席委員 小林慶太郎（四日市大学 教授）
笹岡邦清（暁石齋株式会社 取締役）
出口 功（菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長）
藤井博光（元ライヴカフェ フルハウス店主）
三輪栄子（元四日市シルバー人材センター）
湯田 晃（（公財）四日市市文化まちづくり財団
四日市市文化会館） 矢田氏後任

④ 欠席委員

服部洋明（メガネの隆明堂 店主）
中島颯馬（四日市大学環境情報学部）
堀内あかね（菰野町観光協会）

- ⑤ 放送事業者側出席者氏名 藤生とも子（地域情報部 部長）
諸岡 太（CTY-FM 局長）

3 審議番組 番組名 「EveningWave」 ゲスト出演コーナー
伊勢蔵株式会社 式井一博 社長

放送日時 令和5年7月20日（木）放送分
16:00～18:49

4 開会挨拶・報告

① 新任部長挨拶（藤生とも子 部長）

- ・ 7月から着任。お盆の台風7号に対し、中電や桑名市からも情報発信依頼を受け構えたが大事にならなかった。今後も災害情報発信に力を入れていく。

② 近況報告（CTY-FM局長 諸岡太）

- ・ 8月15日 台風7号対応報告
朝・夕の情報番組で情報発信したことに加え、毎時、気象・交通・停電情報を発信した。菰野町・桑名市からの依頼受け、自治体災害対策情報を防災ラジオも通じて発信できた。今後の台風シーズンにも備え、挑みたい。
- ・ 23年度下期 公開生放送予定
 - ・ B-1グランプリ（11月18・19日）
 - ・ 御在所 公開生放送 など複数予定

5 審議内容

・ 番組概要説明

EveningWaveは、CTYFMの編成においてMorningWaveと共に、フラッグシップ番組として月～金の帯番組として放送している。交通情報や天気予報・安全安心のコーナーに加え、地域で活躍している方々などをゲストに迎え、パーソナリティーとのトーク形式で活動の思い・地域への波及効果・期待などをリスナーに伝えている。

今回のゲストは大正3年からの老舗で、木桶での味噌・醤油醸造にこだわる蔵元の経営者。なぜ木桶製造にこだわるのか、持続するための大きなハードルと対策、そこから生まれる多彩な商品や入手方法をリスナーに向け紹介し、意外と知られていない地元味噌蔵の存在と利用を呼びかけた。

パーソナリティーは まこ。

・番組聴取： 番組名 「EveningWave」 ゲスト出演コーナー
伊勢蔵株式会社 式井一博 社長 出演分
(約 20 分)

放送日時 令和 5 年 7 月 2 0 日 (木)
16:00~18:49

- 委員：味噌の雫がなんなのか？どう料理に活かせるのか？深く掘り下げて欲しかった。
- 委員：近所に住んでいながら利用したことはなかった。実は、車で移動中聴いたのだが、凄いなどと思った。コミュニティーラジオの発信を見直した。反響はあったのか？
→ 局長 販売につながったなど反響はあった。
- 委員：木桶の凄さはわかったが、木桶職人復活プロジェクトが掘り下げられず何かわからなかった。リスナーが応援してあげようという気持ちになるような進行が欲しい。
- 委員：パーソナリティーが味噌蔵にお邪魔していれば、もっと踏み込んで臨場感をもって伝えられたはず。スタジオ上でディレクターからの伝聞推定のコメントでしかなく説得力がなかった。味噌の雫をスタジオで舐めるだけでも違ったのでは。
- 委員：商品紹介？木桶のすごさ？総花的転回より、テーマを絞った方が伝わったのでは。
- 委員：地元企業・商店を紹介するのは、日常の暮らしに役立ち嬉しかった。
- 委員：駐車場はあるのか？など、買ってみたいと思った人が喜ぶ情報を引き出してほしかった。もったいない。
- 委員：大正3年（1914年）創業109年じゃないの？たちまち信憑性が落ちるので数字には気をつけて欲しい。

局長： 貴重なご意見をたくさんありがとうございました。
また、ご意見やご感想などがございましたらその都度、ご教示
いただきたく存じます。

次回開催日 令和 5 年 1 2 月 5 日 (火) 1 4 : 0 0 ~ 対面開催予定

6 記事の公示

CTY-FM ホームページにて公示

7 補記

委員交代

矢田敏浩 氏から湯田 晃氏へ

((公財) 四日市市文化まちづくり財団の担当者交代による)

以上